

はじめに

鹿児島県は九州の南端に位置し、東西約270km、南北約600kmに広がり、薩摩、大隅の二つの半島からなる県本土と、甬島(こしきしま)、種子島、屋久島、トカラ列島、奄美群島など200有余の島々から成っています。また、温暖な気候や広大な畑地などの特性を生かし、畜産や園芸作物を中心とした農業生産が盛んです。

和牛日本一に輝いた鹿児島黒牛、バイヤーから高評価を得ているかごしま黒豚やブロイラーなどの畜産の他、農業産出額が全国1位となった茶(生葉)をはじめ、かんしょ、そらまめ、ばれいしょなども全国上位の生産量を誇り、鹿児島県は農業県として全国に名を馳せています。

さて、九州農政局鹿児島県拠点では、「農政を現場に伝える」「現場の声を汲み上げる」「現場と共に解決する」ため、県内の農林水産業関係者の皆様と意見交換を行わせていただいています。その中で、輸出やスマート農業、有機農業等に取り組む農業者や活躍する農業女子と出会い、鹿児島県農業の力強さを実感しているところです。

この「輝く鹿児島の農業」は、これから農業を始めたい方はもちろんのこと、鹿児島県内で農業に従事されている方や農業関係者の方々に、鹿児島県農業の魅力を再発見していただきたいとの熱い想いで、昨年7月に作成しました。この度、掲載されているデータ等を更新し、第2版として関係者の皆様へお届けすることとします。

引き続きこの冊子が、鹿児島県農業PRの一助となれば幸いです。